

科目名		看護学概論	教員名	看護学科教員	学科等	看護	必修	履修年次	1
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要		看護の起源や歴史的変遷、看護学の中心概念である「人間」「環境」「健康」の学習を通して看護とは何かを考えます。また、看護理論を学び、看護に対する考え方を深めます。さらに、看護の機能や役割を学び、看護職に対する理解と自覚を深め、看護専門職として生涯にわたる自己研鑽の必要性を認識できる力を養います。							
目的・目標		目的:学問としての看護を認識し、科学的な思考過程と倫理的側面をふまえて実践できる基盤を獲得する。 目標:①看護の概念を世界的・歴史的に展望し看護の本質を理解できる。②看護の対象としての人間について、さまざまな視点から理解できる。③健康の概念と健康が看護の対象に及ぼす影響を理解できる。④人間と環境との関係を理解し環境が人間に及ぼす影響を理解できる。⑤看護理論が看護を科学的に根拠づけ看護実践の基盤になることが理解できる。⑥看護職への理解と自覚を深め、自己研鑽の必要性を認識できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	看護の概念		到達目標:看護の概念を世界的・歴史的に展望し看護の本質を理解できる。 学習内容:看護の特性、看護の定義、看護の役割と機能を学習する。					
	2	看護の変遷		到達目標:看護がどのように発展してきたのかを理解し、看護のあり方について考えることができる。 学習内容:看護の歴史と発展、古代から現代における看護の変遷を学習する。					
	3	看護の対象		到達目標:看護の対象としての人間について、さまざまな視点から理解できる。 学習内容:人間の捉え方、看護の対象としての人間、人間各期の発達課題を学習する。					
	4	看護の対象		到達目標:看護の対象としての人間について、さまざまな視点から理解できる。 学習内容:人間の捉え方、看護の対象としての人間、人間各期の発達課題を学習する。					
	5	健康と看護		到達目標:健康の概念と健康が看護の対象に及ぼす影響を理解できる。 学習内容:健康の概念、健康の段階と健康への影響要因、我が国の患者と医療の特徴について学習する。					
	6	環境と看護		到達目標:人間と環境との関係を理解し環境が人間に及ぼす影響を理解できる。 学習内容:環境の概念、環境の変化と対処機制について学習する。					
	7	看護の理論と実践		到達目標:看護理論の特徴と理論が看護実践の基盤になることを理解できる。 学習内容:看護理論の定義、看護理論の構成要素、看護理論家とその理論、看護理論の実践への適用について学習する。					
	8	看護の理論と実践		到達目標:看護理論の特徴と理論が看護実践の基盤になることを理解できる。 学習内容:看護理論の定義、看護理論の構成要素、看護理論家とその理論、看護理論の実践への適用について学習する。					
	9	ナイチンゲールの理論		到達目標:ナイチンゲールの看護の捉え方の理解に努め、自分の考えを表現できる。 学習内容:「看護覚え書」の概要を学習する。					
	10	ヘンダーソンの理論		到達目標:ヘンダーソン「看護の基本となるもの」について概要が理解できる。 学習内容:「看護の基本となるもの」の文献購読を行う。					
	11	オレム・ロイの理論		到達目標:オレムのセルフケア不足理論・ロイの適応看護モデルの概要が理解できる。 学習内容:オレム・ロイの理論を学習する。					
	12	看護とは（１）		到達目標:グループ学習を通して自己の看護に対する考え方の視野を広げる。 学習内容:メンバーと協力し「看護の仕事や役割」「人々が看護職に求めている事」「これからの看護のあり方」を念頭に看護とは？についてまとめ発表する。					
	13	看護とは（２）		到達目標:グループ学習を通して自己の看護に対する考え方の視野を広げる。 学習内容:メンバーと協力し「看護の仕事や役割」「人々が看護職に求めている事」「これからの看護のあり方」を念頭に看護とは？についてまとめ発表する。					
	14	看護とは（３）		到達目標:グループ学習を通して自己の看護に対する考え方の視野を広げる。 学習内容:メンバーと協力し「看護の仕事や役割」「人々が看護職に求めている事」「これからの看護のあり方」を念頭に看護とは？についてまとめ発表する。					
	15	専門職としての看護		到達目標:看護専門職への理解と自覚を深め自己研鑽する必要性が認識できる。 学習内容:看護者の倫理綱領、専門職の特質・定義、社会から期待される看護専門職について学習する。					
成績評価の方法・基準		課題レポート20％　グループワーク20％　記述試験60％　（対面・オンライン共通）							
教科書		1. ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 2. 看護覚え書 3. 看護の基本となるもの		志岡岐康子 他編 F. Nightingale著　湯慎ます 他訳 v. Henderson著　湯慎ます 他訳			メディカ出版 日本看護協会出版社 日本看護協会出版社		
参考図書		必要時、紹介する。							
教員からのメッセージ		看護の実践は、看護の対象者との人間的なかかわりの中で習得することができます。そのためには看護に対する基本的な知識が必要です。看護学概論はこれから学ぶ看護の科目の土台となるものです。看護学の中心概念を概観しながら看護に対する考え方を少しずつ養っていきましょう。臨床経験豊富な看護師資格を持つ教員がこの授業を担当します。							